

平成 29 年度版

安全報告書



平成 29 年度版 大室山登山リフト安全報告書

(平成 28 年 11 月～平成 29 年 10 月)

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用と、ご理解いただき誠にありがとうございます。

当社は、経営理念の第一に、お客様の安全確保を揚げ、法令遵守のもとに日々の安全輸送に努めています。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保の為のマネジメント体制や、安全輸送の実施について日々、自ら振り返るとともに広くご意見を頂くために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立たく、ご意見を頂戴できれば幸いです。

池観光開発(株) 代表取締役社長 稲葉明夫

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営方針は「輸送の安全確保」であります。

当社の安全管理規定、第二章、第二条に掲げており、社長、役員、従業員に周知徹底しております。

また、経営理念といたしましては、「お客様の安全確保」「法令遵守のもとに日々の安全輸送に努める」を掲げています。

(2) 安全目標（中期目標）

区 分	項 目	目 標 内 容
定量的な目標	施設不具合による事故	施設不具合による事故を発生させない
	人身障害事故	人身障害事故を発生させない

3. 事故等の発生状況と再発防止措置

(1) 索道運転事故

平成 29 年度、索道事故の発生はありませんでした。「創業以来 53 年間索道運転事故の発生件数は 0 件」です。

(2) 災害(地震や暴風雨、落雷、ゲリラ雷雨など)

強風、雨、台風、大雪等により、23 日およそ 184 時間、終日運行中止しました。

強風、雨、台風、大雪等により、4 日およそ 16 時間、営業途中で運行を中止しました。

(3) インシデント(事故の兆候)

平成 29 年度、インシデントの発生はありませんでした。

(4) 行政指導

平成 29 年度、監督官庁からの行政指導はありませんでした。

4 輸送の安全のための取り組み

(1) 人材教育

従業員には、輸送や皆様の安全に役立つよう日頃から施設などの取り扱いについての安全教育を実施しています。また日本鋼索交通協会作成の小冊子【**お客様を安全に運びます**】を全従業員に配布して日々の安全教育に活用しています。

“PDCAサイクル”の取り組みにおいて、継続的な安全性の向上に努め教育を行い、“インシデント・ヒヤリハット”の対策等に取り組んでいます。

- ・NC テクニカルセミナー【電気-初級/電気設備の取り扱い】に索道係員 1 名が受講しました。
- ・平成 29 年度、中部運輸局【索道技術管理者講習】に 2 名受講しました。
- ・平成 29 年度、中部運輸局【運輸安全マネジメントセミナー】【リスク管理セミナー】に 2 名受講しました。

(2) その他の安全対策

※視覚障害のお客様への対応訓練

通年営業の観光リフトである当社施設には、御高齢のお客様、体のご不自由なお客様、車椅子のお客様が多く御利用頂いております。そんな中、目のご不自由なお客様もご利用頂く事から、実際に従業員にアイマスクを付けて訓練を行いマニュアルを制作いたしました。

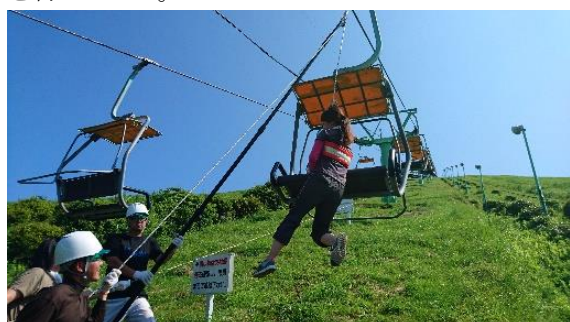


視覚障害のお客様対応訓練

(3) 緊急時対応訓練

毎年1回以上、全従業員にて、防災訓練、救助訓練を実施しています。

今期は、平成 28 年 12 月 15 日、平成 29 年 6 月 23 日防災訓練として、119 番通報訓練、お客様誘導の訓練を救助訓練として、実際に搬器に乗車し、営業状態を想定しての、下降用救助装置による救助及び、山麓までの誘導を行いました。



救助訓練



119 番通報訓練

(4) 安全・安心のための点検、整備等への投資

安全維持管理のための中長期点検・整備計画書により索道施設の整備、改修を実施しています。

- ・平成 29 年度は始業点検、1、6、12 月の法定点検・潤滑油の給油・消耗部品等の交換
- ・8 号 AB 支柱 2 輪ビームブッシュ交換・受索輪 OH(自社整備)
- ・7 号支柱全 2 輪ビームブッシュ交換・受索輪 OH(自社整備)
- ・8 号支柱基礎・7 号支柱基礎、ボーリング調査
- ・風速計を三杯式から風向風速計に変更



8 号柱・7 号柱、整備作業風景



8 号柱整備前



8 号柱整備後



8号柱整備前



8号柱整備後



7号柱整備前



7号柱整備前

当社施設では三杯式風速計を使用しておりましたが、安全性向上の為風向風速計に変更いたしました。



当社施設は開業 53 年、シングルリフト運行 27 年、ペアリフトに変更後、運行 26 年となっております。各施設、各設備等、経年と共に劣化をしておりますが、整備細則から整備計画を立てて確実な整備をおこなっております。しかしながらリフト施設一番の要である支柱基礎は、地中に埋もれ、表面は風雨にさらされ 26 年の年月が経過しております。前年度は、搬器の非破壊検査を行いました但今年度は支柱基礎のボーリング調査を行いました。(8 号支柱基礎・7 号支柱基礎)

検査の結果、異常はありませんでした。



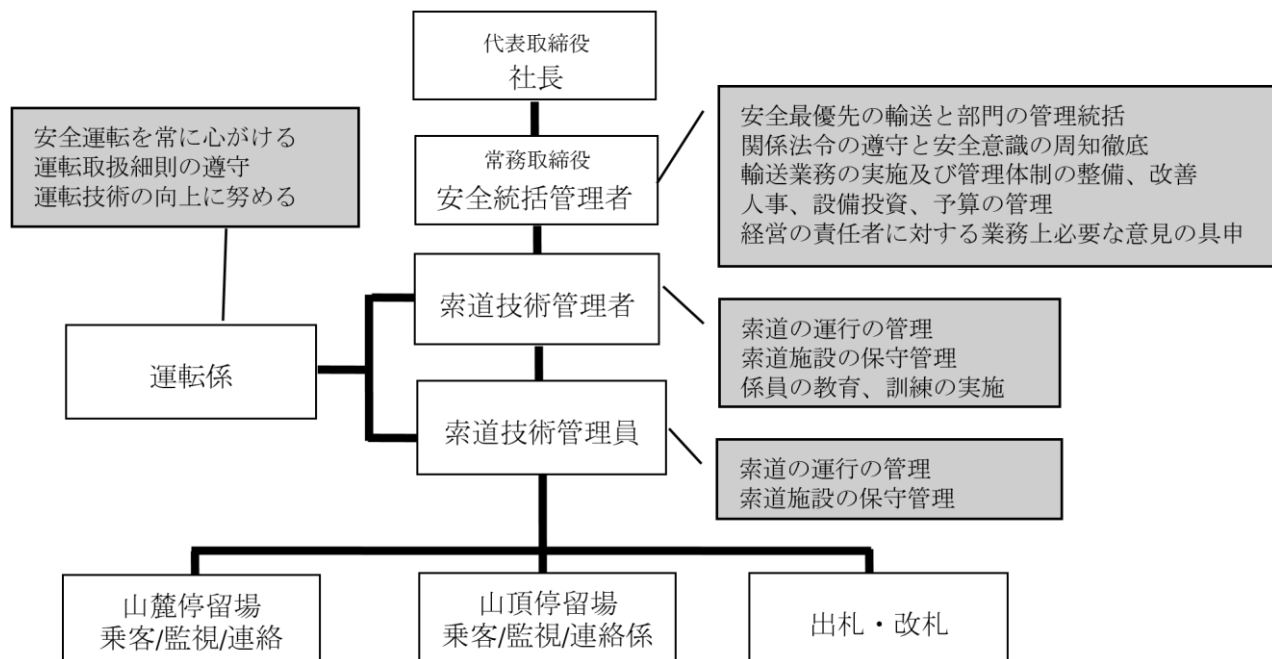
8 号支柱基礎ボーリング調査



7 号支柱基礎ボーリング調査

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。
また、日々の報告、連絡等も重視し業務に反映させています。



6. 利用者の皆さまの連携とお願い

- (1) 大室山登山リフトでは、ご利用いただきますお客様に、安全・安心な索道施設を作るために、ご要望、ご意見等お聞かせ願ひ少しでもお役に立てるように改善したいと思っています。
- (2) リフトの乗り方 <https://www.youtube.com/watch?v=qZmoHFW9twI>



- 待機位置に二列に並び係員の指示に従ってください。
- 座ったらすぐに足を上げて（伸ばす）下さい。
- 頭上のセフティーバーを下げて下さい。
- 身体の不自由な方は、係員に申し出て下さい。

7. 連絡先

池観光開発株式会社 索道部 お客様係
〒413-0234 静岡県伊東市池 672-2

TEL 0557-51-0258
FAX 0557-51-4814